

公衆衛生看護学概論	2年・前期	2単位 30時間	教授 島田 昇 他
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33410912

1. 授業のねらい・概要

学生が公衆衛生看護成立の歴史，理念・目的を理解し，健康問題を地域社会情勢との関連で捉え，地域や家庭を基盤とした看護活動の考え方，公的ヘルスケアサービスの中で機能する看護のあり方を理解できることを目的とし，保健師の公衆衛生看護活動について考察することができる。

2. 学修の到達目標

1. Winslow, C. E. A の公衆衛生看護の理念を述べるができる。(D-2)
2. 公衆衛生看護の対象を説明できる。(D-2)
3. ヘルスプロモーションについてキーワードを使用し述べるができる。(D-2)
4. 公衆衛生看護活動の場の違いと活動方法を説明できる。(D-2)
5. ヘルスビリーフモデルについてキーワードを使用し述べるができる (D-2)
6. トランスセオレティカルモデルについてキーワードを使用し述べるができる。(D-2)
7. 地域アセスメントの3つの目的・意義について述べることができる (D-2)
8. コミュニティ・アズ・パートナーモデルの8つのサブカテゴリーを述べることができる。
(D-2)
9. 多様性文化社会における保健師の活動について説明することができる。(D-3)
10. 健康教育の目的・意義について3つ述べるができる。(D-2)
11. 指定難病の定義について4つ述べることができる (D-2)

3. 授業の進め方

テキストに基づいた講義と，ゲストスピーカーの講義を中心に，公衆衛生看護学の基本的な考え方や保健師の業務・役割および保健師の活動の場や特性など，ポイントを絞って進める。また，演習ではグループワークを取り入れる。

【アクティブラーニング実施の有無】

アクティブラーニングとして，リフレクションを用いる。

【ICT活用の有無】

Google Classroomによるリフレクションの提出。

4. 授業計画 (講義・演習)

回	授業内容	授業形態	事前事後学修 (学修課題)	担当
1	公衆衛生看護の基本概念・目的	講義	予習：公衆衛生看護学.jp「予防と公衆衛生看護」p4～6を読んでまとめる。 復習：講義内容の予防の概念，Winslow, C. E. A の公衆衛生の定義についてレポートにまとめ Google Classroomを使ってリフレクションと共に提出。	島田 昇

2	公衆衛生看護の対象	講義	<p>予習：公衆衛生看護学.jp「地域保健活動の場と対象」p8～12を読んでまとめる。</p> <p>復習：講義内容の公衆衛生看護における「生活」・「家族」・「集団」・「対象」についてレポートにまとめ Google Classroomを使ってリフレクションと共に提出。</p>	島田
3	生活環境と健康課題	講義	<p>予習：公衆衛生看護学.jp「健康とは何か」,「ヘルスプロモーション」p12～18を読んでまとめる。</p> <p>復習：講義内容の公衆衛生看護における「健康の定義」,プライマリヘルスケア,ヘルスプロモーション,健康日本21(第三次)についてレポートにまとめGoogle Classroomを使ってリフレクションの提出。</p>	島田
4	公衆衛生看護の活動方法	講義	<p>予習：公衆衛生看護学.jp「保健行動と保健活動」p72～85を読んでおくこと。</p> <p>復習：講義内容の健康信念モデル(ヘルスベリーフモデル),社会的学習理論(社会的認知理論),トランスセオレティカルモデル(行動変容ステージモデル)についてレポートにまとめ。Google Classroomを使ってリフレクションと共に提出。</p>	島田
5	産業保健活動	講義	<p>予習：公衆衛生看護学.jp「産業保健」p468～491を読んでまとめる。</p> <p>復習：講義内容の産業保健看護師の役割についてレポートにまとめ Google Classroomを使ってリフレクションと共に提出。</p>	島田
6	学校保健活動	講義	<p>予習：公衆衛生看護学.jp「学校保健」p453～467を読んでまとめる。</p> <p>復習：講義内容の学童期・思春期の健康課題と,健康課題への活動についてレポートにまとめ Google Classroomを使ってリフレクションと共に提出。</p>	島田
7	行政保健活動	講義	<p>予習：公衆衛生看護学.jp「保健医療福祉システム」p51～59を読んでまとめる。</p> <p>復習：講義内容の保健所保健師の役割,市町村保健センター保健師の役割についてレポートにまとめ Google Classroomを使ってリフレクションと共に提出。</p>	島田
8	地域アセスメント	講義	<p>予習：公衆衛生看護学.jp「地域保健活動過程と保健師活動」p103～122を読んでまとめる。</p> <p>復習：講義内容の地域診断の目的と定義,プリシード・プロシードモデル,コミュニティ・アズ・パートナーモデルについてレポートにまとめ Google Classroomを使ってリフレクションと共に提出。</p>	島田
9	保健福祉対策と事業計画	講義	<p>予習：公衆衛生看護学.jp「活動・事業計画と保健師の役割」p136～151を読んでまとめる。</p> <p>復習：講義内容の計画策定のプロセス(PDCAサイクル)についてレポート</p>	島田

			にまとめGoogle Classroomを使ってリフレクションと共に提出。	
10	社会の環境変化と健康課題	講義	予習：公衆衛生看護学.jp「社会の環境変化と健康課題」p86～100を読んでまとめる。 復習：講義内容の多文化共生社会・グローバル化と保健師の役割についてレポートにまとめGoogle Classroomを使ってリフレクションと共に提出。	島田
11	公衆衛生看護活動の実際 ①保健指導	講義	予習：公衆衛生看護学.jp「地域の保健活動」p61～71を読んでおくこと。 復習：講義内容の相談的方法，教育的方法についてレポートにまとめGoogle Classroom使ってリフレクションと共に提出。	島田
12	公衆衛生看護活動の実際 ②健康教育	講義	予習：公衆衛生看護学.jp「健康教育」p188～199を読んでまとめる。 復習：講義内容の一次予防，二次予防，三次予防，ポピュレーションアプローチ，ハイリスクアプローチについてレポートにまとめてGoogle Classroom使ってリフレクションと共に提出。	島田
13	公衆衛生看護活動の実際 ③地区活動	講義	予習：公衆衛生看護学.jp「地域保健活動過程と保健師活動」p103～122を読んでまとめる。 復習：講義内容の対象地域の情報収集，情報の分析，地区踏査の観察のポイントについてレポートにまとめGoogle Classroomを使用しリフレクションと共に提出。	島田
14	地域におけるグループ支援・地域組織活動	講義 演習	予習：公衆衛生看護学.jp「セルフヘルプグループ」p154～155を読んでまとめる。 復習：講義内容について感想と考察をレポートにまとめる。	赤石嘉苗
15	地域で暮らす難病患者への支援活動	講義 演習	予習：公衆衛生看護学.jp「難病療養者・家族の健康と生活」p317～327を読んでまとめる。 復習：難病法についてレポートにまとめGoogle Classroomを使用しリフレクションと共に提出。	島田

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）70%，課題レポート30%で総合的に評価する。合格基準は60%以上とする。合格基準に満たない（60%未満）場合は、単位認定できない。

成績評価、「2. 学修の到達目標」に示した達成状況を、ルーブリック評価表を基に、5段階評価で採点する。尚、ルーブリック評価表に関する詳細については、第1回講義内で別途説明する。

演習レポートの内容、提出期限、提出方法（場所）、評価の基準詳細（コミュニティー・アズ・パートナーモデルの様式に基づいた評価）は、第1回講義内で紙面にて提示する。

定期試験の出題範囲及び出題方法等は、講義内にて口頭で説明する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：荒賀直子，後閑容子（2024） 公衆衛生看護学.jp（第6版） インターメディカル

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲について最低 90 分以上の予習及び、授業内容について 90 分以上の復習を実施すること。

8. 受講上の留意事項

日常的に新聞を読みニュースに触れるように心がけ，図書館を利用し文献や専門雑誌に目を通すこと。

遅刻，欠席ならびに授業中の私語，授業に関係ない言動（スマホの使用等）は慎むこと。

講義時間開始後の無断での教室の入室および退出は慎むこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験の解答は試験後に口頭にて解説する。

提出された課題は教員が確認して返却する。内容が不備なものは再提出を求める。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり，修得できない場合進級不可となる。

11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される

行政委託機関及び，医療機関での保健師としての勤務経験を活かして，講義・演習を行う。